



発行者
諫早市立真城中学校
校長 山内 昇

学校教育目標

- 広い心と公正な判断力のある、情操豊かな生徒を育成する。（徳育）
- 自ら求めて学び、豊かな知性を備え、創造力に富む生徒を育成する。（知育）
- 健康でたくましく、忍耐力に富む生徒を育成する。（体育）

○ 部活動の地域展開（地域移行）について（その3）

部活動の地域展開（地域移行）について、その3です。
☆今後の部活動については、以下のように整理できます。

- (a) **平日の部活動**⇒市中総体・新人戦への参加（学校行事）
(b) **地域クラブ**⇒上記中体連以外の大会への参加

その2で説明したように、現時点では、「(1) ①現在の部活動が休日のみ地域クラブに移行」のケースが多いと考えられますので、実際には(a)、(b)ともに同じ構成メンバーで大会に出場することになると考えます。

将来的には、地域展開が進み、チーム（組織）の在り方も変化していくことが予想されます。陸上競技は、市全体で休日（土曜日）に練習できる体制を整える計画で、指導者や場所の問題を一気に解決しようとしているようです。

また、すでに諫早市内には多くの競技で地域クラブが活動しているので、それらが拡充することと考えられます。

一点、注意事項があります。将来的な地域展開を見越して、**平日も含めて完全に地域クラブ化した場合は**、令和8年度までは、**県中総体には地域クラブ枠での出場**となります。別途、県中体連への申請・登録も必要になります。登録の要件などの確認をしてください。

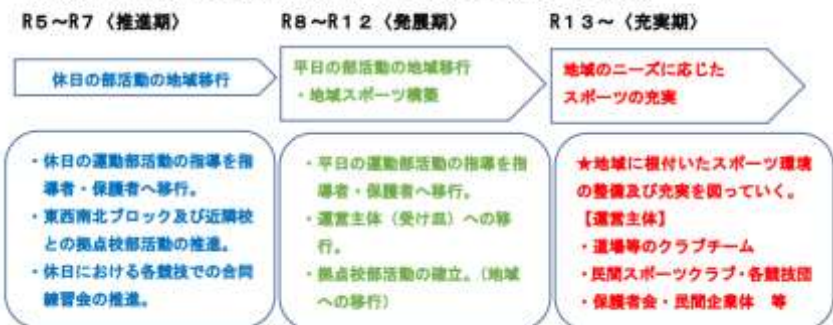
地域クラブが県中総体に参加する場合も、ガイドラインの順守が要項に明記されています。地域クラブに移行した場合も、**部活動ガイドライン及び諫早市の部活動運営規定を守って活動**していただくようお願いします。

これまでの部活動の在り方は、指導者を含め多くの方のボランティアで成り立っていた部分が大きかったです。また、運営に関しては、保護者の方の負担も大きくなっているのが現状です（遠征等）。持続可能な活動の在り方を考えたとき、**①勝利至上主義ではない活動**、**②指導者や運営への適切な対価**、**③受益者負担についての理解**、の3点を明確にする必要があると考えます。

「指導者」については、これまでの指導者（外部コーチ）が継続して指導、競技団体からの協力をお願い、県のエントリーシステムなどの活用が考えられます。また、教職員が指導者として活動する場合は、兼業兼務の申請などの手続きや、指導時間が労働時間に加算されるなどの要件がありますので、ご留意をお願いします。

● 諫早市における運動部活動の地域移行ロードマップ

諫早市では、子供たちの未来を見据えた「部活動改革」を推進しています。



部活動の地域展開（地域移行）については、課題も少なくないのが現状です。しかし、「持続可能」な形で子どもたちが目標を持ったり、自己実現に向けて努力し、達成感を得ることのできる「場」を保証することは大切なことです。「過渡期」の今、私たちがしっかりと考え、この課題に取り組んでいくことが、将来の子どもたちへ大切なものを残していくことにつながると感じています。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

※諫早市の部活動地域移行に関するHP

<https://www.city.isahaya.nagasaki.jp/soshiki/86/20799.html>

○ 体育大会の感想を紹介します（生徒の感想 その2）

今回は、3年生の感想を紹介したので、今回は1・2年生から紹介します。

私は、今回の体育大会は去年と同じくらい、すごく一体感のあるものになっていたと思いました。特に、閉会式の校歌では、伴奏なしだったけれど、力強い校歌が歌えていて、やっぱり3年生はすごいな！」と改めて感じました。来年は、私たちが体育大会の中心となって引っばっていき、今年を超える、さらによい体育大会をつくりたいと思います。そのために、私は「行動を速くする」と「率先して行動する」ことを今から意識して実践していきたいと思います。

【2年 松木 さん】

ダンスを一番、頑張りました。体育大会に、おじいちゃんや、おばあちゃん、お母さん、お父さん、いとこが見に来てくれると知っていたので、家族に喜んでもらいたいと思い、学校だけでなく、家でも毎日、踊っていました。本番では、家族にわかってもらえるように、キレキレで踊りました。体育大会が終わった後は、家族全員に喜んでもらえました。毎日、練習を頑張ったかいがあったなと思いました。

【2年 草場 さん】

テントなどの準備や練習での3年の立ち振る舞いを見て、呼びかけを積極的にしていたり、みんなで「こうしよう！」とかアイデアを出していて、「やっぱり先輩はすごいな」と思いました。学校全体で取り組むことには積極的になりたいと思いました。私たちも次は3年になり、まとめ役をしなければいけないので、今までの先輩たちのように、みんなで行事に全力で取り組んで楽しんで協力し合いたいです。

【2年 黒木 さん】

リレーで走っている3年生や、練習の時に率先して動く3年生が、すごくかっこよく感じました。私たちも、先生が言われていたように、来年は最高学年になる、ということ意識して、今回の体育大会で協力したことや、これからの一年間で経験していくことを3年生で生かして、来年、下級生にかっこいい！こんなふうになりたい！と思ってもらえるように努力していきたいです。また、来年ダンスをする時には、自分が一生懸命踊るだけでなく、見た人が楽しくなれるように、笑顔をもっと出して踊りたいです。

【2年 下村 さん】

放送の係以外にも応援を頑張りました。また、体育大会に出られなかった人もいたけれどみんなで協力しながら「出てあげるよ。」とか「自分がやる」など言ってくれたりして、体育大会前に良い雰囲気をつくることできていました。クラスのみんながまとまって、男女関係なく応援し合っているのがとても良いなと思いました。また、体育大会の前のことですが、全校のみんながひとつになって円陣を組み、本番でも校歌を大きな声で歌えたのが良かったと思いました。

【1年 杉本 さん】

先輩や友達が走っていたりするときにたくさん大きな声で応援しました。誰かが転んだりしてもあきらめないで走っていて、それを見た人も、たくさん応援していたのを見て感動しました。また、2・3年生のダンスでは、ウェーブもきれいで、みんな揃っていてすごかったです。体育大会当日になっても話し合いをして、最後まで自分たちが楽しめるように頑張っている姿を見て感動しました。

【1年 山本 さん】

体育大会を通して、多くのことに気付いたり、喜びや感動を味わったり、次の学年に向けた決意を新にし、目標を持ったり、多くの「学び」を得ることができたことが、生徒たちの感想から伝わってきました。

この思い（輝き）を、来年の体育大会へと受け継ぎ、繋いでいくことができればと思います。

○ 今日の給食（22・23日）

22日・23日は、諫早市内の農家の方から寄贈していただいた新玉ねぎ（約1トン）が使われたメニューでした。

22日は、スーミータンと肉野菜炒めに入っていました。23日は、チキンカレーに入っていました。「旬の新玉ねぎ」なので、柔らかく甘みがあり、定番のメニューが、より一層美味しくなりました！！



給食を食べている生徒たちの背中からも、「**美味しい！！**」という気持ちが伝わってくるように感じます。また、23日のカレーは、ご飯にかける人、セパレートで食べる人、スプーンに乗せたご飯をカレーにつけて食べる人など、食べ方にもこだわりを感じました。ちなみに、私の友人には、カレーでも箸で食べる人がいます。食べた後のお皿も、驚くほどきれいです。

右の写真は、給食に寄贈していただいた新玉ねぎの写真です。JAながさき県央玉葱部会（会長：川原さん）の皆さまに感謝したいと思います。ありがとうございました。

